

測量設計5団体新年賀詞交換会

一層の活躍・発展を



地域貢献への配慮を要請する福田会長(左から2人目)
＝鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで

県測量設計業協会(福田光一会長)、県建設コンサルタント協会(岩井健会長)、県測量設計コンサルタント協同組合(上山秀満理事長)、県地質調査業協同組合(宇都忠良理事長)、日本補償コンサルタント協会(秋原敏幸会長)の5団体共催による20年新年賀詞交換会が8日、鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで開かれた。行政や議会議員、会員ら約280人が出席し、新たな年の始まりを祝うとともに、互いの活躍・発展を誓い合った。

冒頭、主催5団体を代表して福田会長が「入札システムの変革も本整備や道路特定財源の進捗中、法令順守、技術

力向上に努めたい。発注機関の方々には、迅速、納税、地域雇用、地域貢献できる本県建設関連企業の各企業が消えないようお願いします」と挨拶。さらに「九州新幹線全線開通や篤姫をチャンスととらえ、官民一体

温泉掘削等災害防止技術基準案

可燃性ガス分離設備設置など

環境省の「温泉に関する可燃性天然ガス等安全対策検討会」は12月27日の会合で、温泉掘削・採取時の災害防止技術基準案をまとめた。新規施設は温泉井戸などの屋外設置を原則とし、可燃性天然ガスを分離する設備などの設置を義務化。既存施設には換気設備やガス警報設備の設置などを求める。これを踏まえ、同省は技術基準を3月までに

改正温泉法(令)で定める。改正温泉法は19年6月に東京都渋谷区で起こった温泉施設爆発事故の再発を防止するため、11月に成立。温泉の採取を行う者に対する許可制度を創設するとともに、温泉採取時、掘削時の技術基準を規定することにした。

今回、検討会がまとめた技術基準案によると、新規施設には▽可燃性天然ガスを十分に分離する性能を持つ設備の設置▽温泉井戸、ガス分離設備などの屋外設置(ただし、気象条件などにより屋外設置が困難な場合は、温

泉井戸に限り屋内設置を認める)▽配線ケーブルからの可燃性天然ガス侵入の遮断措置などを義務付けた。

既存施設に対しては、温泉井戸などを屋内や地下に設置することを認める一方、▽可燃性天然

ガスの漏出防止▽換気設備の設置▽ガス警報設備の設置▽温泉採取停止設備の設置などを課した。

新規・既存いずれの施設についても、都道府県が実情に応じて技術基準を強化できることを明確にした。

▽「SKELETON」
吉田博則、佐々木健友(太陽工業)

▽「COLOR×COLOR」
中盾哲史、大石卓人、松田拓郎、金箱康幸、宮下信頭(竹中工務店)

▽「ソウコのモリ」
花原裕美子、加世田朋子、出水里枝(鹿児島大学)

▽「海馬」
川田知典(東京大学大学院)

日本膜構造協会は「テント倉庫デザイン創意工夫コンテスト」審査結果を発表した。最優秀賞に「被災地に咲く花」(膜構造協会)が受賞した。

11日に虎の門パストラル(東京都港区)で表彰する。このコンテストは、単調になりがちなテント倉庫や荷さばき施設のデザイン向上が目的。

▽「被災地に咲く花」
堀良平、塩野友嗣、田中匠、望月綾子(竹中工務店)

▽「5年後のテント倉庫」
吉川和博、新修一、柴田隆之(高島)

西園 幸弘



転機

家内が入院することになった。3年前のことである。息子たちは中学生と小学生。掃除洗濯なら問題ないが、それまで料理と呼べるものなど作ったことはなかった。

とにかくやるしかなかった。生来、凝り性なので、やるからには徹底しようと思った。味の付けの基本から魚のさばき方、味噌汁の作り方、野菜・肉・魚などさまざまな分野の料理本を近くの公民館から借りてきて、休日に

なるもメモを片手に買い出しに出かけた。回を重ねるうちに調味料の使い方がだしのとり方が分かるようになり、おいしいと言ってもらえる料理が増えてきた。好評な料理は、レシピ帳に書き留めることに

した。イラストを添えるのも密かな楽しみになった。最初の頃は、冷蔵庫に何が入っているか、確かめるのが癖になった。日曜日の夕方5時前になると、体内時計が騒ぐ。行きつけのスーパー、生鮮食料品が2割引になるタイムサービスが逃すと、損した気分になる。話をすると、息子たちの週1回、いつものメニューを見ないと何となく落ち着かない。

料理番組を見るようになった。これはという料理は、メモに書きとめ挑戦してみる。少し大げさだが、料理を始めて、世の中が少しだけ広がった。野菜や

果物、魚の種類や値段で、季節や気候の変化を感じる。相場感も身に付いてきた気がする。菜の花、ラッキョウ、梅、ヘチマ、サンマなど季節ごとの旬の肴は自前になった。息子たちのお気に入り、麻婆豆腐、ビーフシチュー、ロールキャベツ、ハンバーグ。ただ、残念ながら「王将」のヤキメシには勝てない。まだ、レシピ無しで作れる料理は少ない。これからも修行は続きそうだ。(県住宅政策室長)

加藤勉伯氏が死去 きょう、告別式



長年にわたり本県建設業界の発展に尽力してきた加藤勉伯(かつのり)氏(鹿児島市)が1月7日死去した。

同氏は昭和23年、(株)佐屋金物設立と同時に初

代社長に就任。以来、鋼材やセメント・生コンなど建設資材の販売ならびにコンクリート二次製品の製造販売など、土木建築全般を取り扱う九州屈指の建設資材総合商社としての地位を確立。平成15年5月の社長退任までの54年間、リゾート部門や国土建設および地域産業発展に貢献するなど多大な功績を残した。

た。86歳。告別式は、きょう9日正午から吉田葬祭「典礼会館新生館」(鹿児島市大電町10-12)で執り行われる。

喪主は、妻・睦恵さん。葬儀委員長は、同社代表取締役社長・岡部龍一郎氏。なお、故人の遺志により香典、供物・花の儀はご遠慮申し上げるの

【優秀賞】
入賞作品名と提案者名は次の通り。

▽「被災地に咲く花」
堀良平、塩野友嗣、田中匠、望月綾子(竹中工務店)

▽「5年後のテント倉庫」
吉川和博、新修一、柴田隆之(高島)

建設業の詳しい情報は...

<http://www.kc-news.co.jp>

業者格付・県・市町村予算

発注予定工事等々
情報は盛りだくさん!

お問い合わせ:
099-222-6123

無料体験実施中